

今年もミラノサローネの季節がやってきました！

2013年5月9日（火）～5月14日（日）にイタリア／ミラノで開催されたミラノサローネに行ってきました。

### ■Milano Salone 2013



今年で52回目を迎える「ミラノサローネ」は、イタリアのミラノで開催され約30万人が来場する大規模な展示会です。インテリア・家具分野を中心に多くの企業が参加し、新しいデザインの傾向やトレンド発信の場として家電や自動車メーカーなど各業界も注目しています。ミラノサローネで発信されるトレンドはインテリア業界に大きな影響を与えるため、私たちも毎年【色】【素材感】【コーディネート】に着目して視察をしています。今回は、ミラノサローネで見られたトレンドをダイジェストで紹介します！

### ○色の傾向

ベースカラーはグレイジュ（グレーとベージュの間）や明るいベージュが増加しました。サブカラーはベージュ・ライトグレー・ホワイトです。昨年と比較すると、全体的に明度が少しアップしています。

アクセントカラーでは、低彩度のグリーンやブルーグリーン、ブラウニッシュピンクなど色相幅が広いピンクが多く見られました。また、イタリアらしさを演出するようなレッドも効果的に用いられていましたが、アクセントカラーと言っても落ち着いた色使いが多かったです。

### ■Trend Color



## ○素材の傾向

ファブリックでは、凹凸や二色性・グラデーションなど変化に富んだ素材や、ざっくりとした織り目のファブリックが多く見られました。毎年、色や柄にトレンドが見られる木目は、2010年頃から多く用いられているウォルナットやオークに加えて、パリサンダー（ローズウッド）という濃色の木目が多く見られました。また、上品な印象のチョークド（木目を白い粉で埋める）仕上げもいくつか見られました。金属質感に注目してみると、真鍮色・銅色（銅色）など色味がある金属質感が空間コーディネートアクセントに使われていました。

### ■ Texture

#### 木目



#### 金属



## ○コーディネートの傾向

2008年～続くナチュラル傾向の中に、モダンな印象の「レッド」をアクセントにするコーディネートが見られ、モダンデザインの回帰の兆しを感じられました。不況が続くイタリアで地場産業の再起をかけて「イタリアらしさ」の演出と、インテリア業界において台頭する中国・韓国市場へのアピールが考えられます。

### ■ Coodinate



展示会場の壁の色にも注目していたのですが、白い壁を探すのが大変なくらい色彩が施されている壁が多かったです。欧米では何もない空間を何かで埋めるといった性向があるそうです。例えば、ヨーロッパで白い壁を見かけても、その壁には必ずと言っていいほど写真やアートが飾られています。最近では、日本でも家のなかのひとつの壁面を好きな色でペイントするとか、シールを貼るとかアートを飾る人が増えています。もっともっと日本の壁が色彩豊かになると楽しいなと思います。

#### ■ Wall Decorative



ブルーの壁 × 壁いっぱいの大きな絵



ラベンダーの壁 × プレート

ミラノサローネ調査の帰り、乗り継ぎのヘルシンキ空港の喫煙室の壁が綺麗なラベンダー色でした。白木の色のコーディネートされていて、喫煙室とは思えないほど爽やかな空間でした。素敵なセンスだなーと思いました。まだまだ感動は続きます。搭乗口の前に用意されている飛行機は、マリメッコ（花）柄でした。飛行機を見た瞬間、調査の疲れを忘れてしまうほど嬉しい気分になりましたよ。

#### ■ Helsinki-Vantaa International Airport



ヘルシンキ空港の喫煙室



マリメッコ（花）柄の飛行機

過去のミラノサローネとの経年変化やペイント壁とのコーディネート提案、ミラノサローネのちょっとした裏話など、内容盛りだくさんでセミナーを開催いたします。セミナー日程はP X Iサイトのインフォメーションに記載しますので、ぜひぜひチェックして下さい！